



くろす

黒須としたか

活動レポート
田園海浜文化都市宣言
CROSS通信

事務所:大網白里市大網33-8サンモア内 TEL0475-73-4126(ナミヨイプロ)
自宅:大網白里市仏島28-8 TEL0475-73-8615 FAX0475-70-2666
<http://www.geocities.jp/ooamicross/>Eメール:ooamicross@ybb.ne.jp

戦争を繰り返さぬために 子どもたちに歴史を伝えよう

8月6日は広島にアメリカから原爆弾が落とされた日。大網白里市では、5日から6日の2日間「原爆被爆と戦時下の郷土資料展」が市と市民団体との共催で開催され、私もお手伝いをしました。

今年は例年になく多くの子どもたちの来場がありました。来場していた東金市民の方から、東金は役所ロビーに原爆資料をちょっと展示しているだけなのに、それと比べ大網白里市は大変立派な展示を行っていると言われ褒められました。担当課の生涯学習課の皆さんと多くの市民の協力で平和の大切さを伝えていくこの展示をこれからも続けてもらいたいと思います。

今年は例年より期間を縮小し、平日のみの開催でした。次の土日から始まった「大網白里百年のあゆみ」という特別企画展を行う関係で平日のみしか会場を借りられなかったようです。

その特別企画展のパンフレットの巻末年表を見ると昭和19年から21年がすっぽり抜け落ちていきます。「大網白里町史」にも戦争に関する記述や戦中戦後の記録が大変少ない。

本市には、日立航空機大網工場という、戦争末期に戦闘機のエンジンをつくるための地下工場群が朝鮮人の強制労働で建設され、一部稼働していた史実があります。この歴史をどのように位置づけ、未来に伝えていくのか見えません。

長野市が公開している松代大本営地下壕跡の入り口に、地下壕建設の経緯を記した看板があります。その看板の説明文中にある(朝鮮人が)「労働者として強制的に動員され」という説明のうち「強制的に」の部分のシールで隠したことが新聞報道で取り上げられ、長野市は市民から多くの批判

を受け、副市長は陳謝しました。右翼団体からの批判に安易に長野市観光課が対応してしまったようです。「長野市史」には朝鮮人が強制的に動員されたことがきちんと書かれており、長野市の公式な見解であると認めざるをえませんでした。

千葉県内では、館山市が赤山地下壕という戦争遺跡を保存公開し、市の歴史や教育施策、観光事業等にきちんと位置づけています。戦争の記憶を風化させず、そして二度と悲惨な戦争を繰り返さないために、負の歴史も後世に伝えていくことが大切だと考えます。

千葉県内各地をマラソンでつないで非核平和を訴える千葉県反核平和の火リレーに参加しました

千葉市役所から市原市役所までの700kmを550名以上のランナーによりつながれた反核平和の火リレーに参加。昨年に引き続き二人の子どもたちと、さらに今年は一色議員も誘い、7月28日、中継地点の大網白里市役所から茂原市本納まで走りました。

